

店舗名 :

1. 「企業規模」を選択し、該当のマスにチェック✓を入れてください。

<input style="width: 50px; height: 30px;" type="checkbox"/> 中小企業又は個人事業主	<input style="width: 50px; height: 30px;" type="checkbox"/> 大企業
---	---

2. 「区分Aの協力日数」を算定してください。

区分Aの協力日数 = 区分Aの協力開始日 から 区分Aの協力終了日 まで = 区分Aの協力日数 日

3. 飲食事業の「過年度売上高」を算定してください。令和3年2月28日以前に開店している場合は「a」を、令和3年3月1日以降に開店した場合は「b」の計算式を使用してください。

●下記の計算方法を選択し、該当のマスにチェック✓を入れてください。

a

・令和3年2月および3月の飲食業売上高 ÷ 日数 (59日) = 過年度売上高
 ・令和2年2月および3月の飲食業売上高 ÷ 日数 (60日) = 過年度売上高
 ・平成31年2月および3月の飲食業売上高 ÷ 日数 (59日) = 過年度売上高

2月飲食業売上高 + 3月飲食業売上高 ÷ 日数 = 過年度売上高

(円 + 円) ÷ 日 = 円

※税抜き、テイクアウト除く ※税抜き、テイクアウト除く ※59日または60日 ※1円未満切上げ

●開店日 (令和 年 月 日) から 3月31日までの飲食業売上高 ÷ 日数 = 過年度売上高
 ※令和3年3月1日以降に開店した店舗が対象。令和3年4月1日以降に開店した場合は売上高「0」を記入する。

b

開店日(令和3年3月1日以降)～3月31日までの飲食業売上高 ÷ 日数 = 過年度売上高

円 ÷ 日 = 円

※税抜き、テイクアウト除く ※開店日～3/31 ※1円未満切上げ

4. 「企業規模」および「過年度売上高」に応じて次の①～④へ進んでください。
 ※①または②へ進んだ場合は、これで計算終了になります。(次ページの計算は不要です。)

中小企業または個人事業主	①	●過年度売上高が【83,333円以下】の場合	基礎額A = <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> 25,000 円	区分Aの協力金額 = <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> 25,000 円 × <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> 日 = <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> ,000 円	※千円未満切上げ
	②	●過年度売上高が【83,334円～250,000円】の場合	基礎額A = <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> 円 × 0.3 = <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> ,000 円	区分Aの協力金額 = <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> ,000 円 × <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> 日 = <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> ,000 円	※千円未満切上げ
大企業	③	●過年度売上高が【250,001円以上】の場合	次ページの5へお進みください。		
	④	●企業規模が大企業の場合	次ページの5へお進みください。		

5. 飲食事業の「要請中売上高」を算定してください。

●令和4年2月21日から3月6日の飲食業売上高÷日数（14日）＝要請中売上高

令和4年2月21日～3月6日飲食業売上高 要請中売上高

$$\boxed{\text{円}} \div 14 \text{日} = \boxed{\text{円}}$$

※税抜き、テイクアウトを除く ※1円未満切上げ

6. 飲食事業の「売上減少額」を算定してください。

●過年度売上高－要請中売上高＝売上減少額

過年度売上高 要請中売上高 売上減少額

$$\boxed{\text{円}} - \boxed{\text{円}} = \boxed{\text{円}}$$

7. 「企業規模」および「売上減少額」に応じて次のⅠまたはⅡへ進み、「区分Aの協力金額」を算定してください。※大企業は必ずⅡへ進んでください。

中小企業または個人事業主	Ⅰ	●売上減少額が【187,500円以下】の場合
	<p>基礎額A = <u>75,000</u> 円</p> <p>区分Aの協力金額 = $\frac{\text{基礎額A}}{\text{区分Aの協力日数}} \times \text{区分Aの協力日数}$</p> <p style="text-align: right;">= $\frac{75,000 \text{円}}{\boxed{\text{日}}} \times \boxed{\text{日}} = \boxed{\text{円}}$,000 円</p>	
大企業	Ⅱ	●売上減少額が【187,501円以上】の場合
		基礎額Aは下記 i から iii のうち一番低い額となります。
	<p>i $\frac{\text{売上減少額}}{\text{区分Aの協力日数}} \times 0.4 = \boxed{\text{円}}$ ※千円未満切上げ</p> <p>ii $\frac{\text{過年度売上高}}{\text{区分Aの協力日数}} \times 0.3 = \boxed{\text{円}}$ ※千円未満切上げ</p> <p>iii <u>200,000</u> 円</p> <p style="text-align: center;">○ 一番低い額</p> <p>基礎額A = $\boxed{\text{円}}$,000 円</p> <p>区分Aの協力金額 = $\frac{\text{基礎額A}}{\text{区分Aの協力日数}} \times \text{区分Aの協力日数}$</p> <p style="text-align: right;">= $\frac{\boxed{\text{円}} \text{,000}}{\boxed{\text{日}}} \times \boxed{\text{日}} = \boxed{\text{円}}$,000 円</p>	